囲碁指南'93

資料提供／日本棋院

取扱説明書

HCT-IF／018

このたびは、㈱ヘクトのファミリーコンピュータ用カセット、「囲碁指南'93」をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになって、正しい使用方法でお楽しみください。

■使用上の注意

●ご使用後はACアダプタをコンセントから必ず抜いておいてください。
●テレビ画面からできるだけ離れてゲームをしてください。
●長時間ゲームをする時は、健康のため、1時間ないし2時間ごとに10分～15分の小休止をしてください。
●精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や保管および強いショックを避けてください。また絶対に分解しないでください。
●端子部に手を触れたり、水にぬらすなど、汚さないようにしてください。故障の原因となります。
●シンナー・ベンジン・アルコール等の揮発油でふかないでください。

目　次

囲碁指南'93

「名局観戦」と「棋力判定」

このソフトには、全135局収録されています。このすべての棋譜を使って、「名局観戦」や「棋力判定」をプレイすることができます。

■名局観戦

このソフトに収録の棋譜をじっくりと観戦することができます。「名局観戦」には、操作することなく自動的に対局が進む「自動モード」とプレイヤーのペースで一手ずつ対局を進める「手動モード」があります。

■棋力判定

名棋士たちの「次の一手」を読んで盤面に打ちながら対局を進めていきます。その正解率でプレイヤーの棋力を判定します。「棋力判定」にはヒントのでる「中級」とヒントのでない「上級」があります。

コントローラーの操作方法

Aボタン	・選択したコマンドの実行や次の画面に進めるとき。 ・「観戦(1)」(自動観戦)のとき、ゲームの中断や再開。
Bボタン	・選択したコマンドのキャンセルや「観戦」モードの設定変更。 ・「判定」モードのとき、ゲームの中止。
スタートボタン	・ゲームのスタート。
セレクトボタン	・ゲーム中の音声の消去。
✚ボタン	・コマンドの選択カーソルの移動。 ・「判定」モードのとき、石を打つ位置の指定カーソルの移動。

＊コントローラーⅠでゲーム中の操作を行ないます。ジョイスティックは使用できません。

スタート

電源を入れるとタイトル画面があらわれます。スタートボタンを押して、ゲームをはじめます。

■モードの選択

タイトル画面でスタートボタンを押すと、右のようなモードの選択画面があらわれます。名局をじっくりと観戦する「名局観戦」か、名棋士の「次の一手」を推察し、あなたの棋力を試すことができる「棋力判定」か4つのモードの中から選択します。✚ボタンでカーソルをあわせ、Aボタンを押します。

それぞれのモードの詳しくは次のページをご覧ください。

≪観戦(1)≫

自動による観戦モードです。このモードでは自動的に対局が進みます。

≪観戦(2)≫

手動による観戦モードです。このモードでは、コントローラーIのAボタンを押すごとに1手ずつ対局が進みます。

≪判定(1)≫

中級コース(5級以上から4段以下)の棋力判定モードです。このモードでは「次の一手」のヒントが盤面に5つまで表示されます。この中から、「次の一手」を推察して打ちます。(ヒント以外のところには打てません。また、まれに禁じ手にヒントが出る場合があります。)

≪判定(2)≫

上級コース(2段以上から7段以下)の棋力判定モードです。このモードでは、ヒントが表示されません。盤面の中から「次の一手」を推察し打ちます。

名局観戦

本ソフトに収録されている棋譜を観戦するモードです。自動的に対局が進む「観戦(1)」とAボタンを押すごとに1手ずつ進む「観戦(2)」があります。

自動のときはスピードを選択する

「観戦(1)」を選択すると右のような画面があらわれ、対局が進むスピードを5段階の中から選択することができます。あらかじめ3に設定されていますが、大きい数字を選ぶと速く、小さい数字を選ぶと遅くなります。

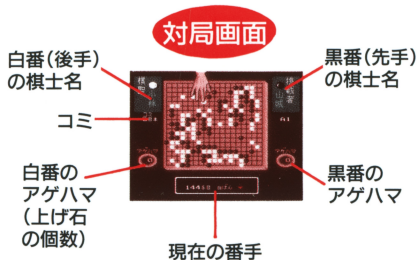
■棋譜を選択

観戦する棋譜を選択します。まず、棋譜の種類を選択し、次の画面でそれぞれの中から観戦したい棋譜を選択します。収録棋譜の詳しくは、13ページ以降をご覧ください。

棋譜の種類を選択します。✚ボタンでカーソルをあわせ、Aボタンを押します。

観戦したい棋譜を✚ボタンで選択し、Aボタンを押します。

■対局開始

観戦する棋譜を選択したら、いよいよ対局がはじまります。画面の見方は下の通りです。先手（黒番）の棋士は画面の下から、後手（白番）の棋士は画面の上から打ちます。「観戦(2)」の場合は、コントローラーIのAボタンを押して、１手ずつ棋譜を進めます。

対局中の一時ストップ

自動観戦の「観戦(1)」では、観戦中に一時ストップすることができます。止めたいところで、Aボタンを押してください。再度Aボタンを押すと再開します。また、このほかにも対局中にさまざまな設定を変更することができます。次のページをご覧ください。

■対局中に設定変更

観戦中に下記のように設定を変更することができます。必要なときに、Bボタンを押すと右のように画面にウインドウがあらわれます。✚ボタンでカーソルをあわせ、Aボタンを押します。

1手もどす
はやおくり（もどし）
スピードを　かえる
このまま　つづける
中止する

●1手もどす

今打った手を、もう1度もどして確認することができます。

●はやおくり（もどし）

見たい局面からはじめることができます。このコマンドを選ぶと、下のようにサブウインドウが表示されます。✚ボタンで、見たい局面は何手目か入力し、Aボタンを押します。

✚ボタンで１ケタずつ入力します。上下で数が増減し、左右でケタが移動します。

●スピードをかえる(「観戦(1)」のときのみ表示されます。)

「観戦(1)」のとき、対局の進むスピードを変更することができます。最初スピードを設定したときと同じような方法でスピードを変更します。(6ページ参照)

●このままつづける

誤ってBボタンを押したときなど変更する必要のないときは、このコマンドを選びキャンセルして観戦を再開させます。

●中止する

観戦を中止します。これを選択すると下のようなサブウインドウが表示され、「おわる」か「もういちどはじめから」か選ぶことができます。

▶おわる
もういちど はじめから

おわる：ゲームスタート時のモード選択画面にもどります。
もういちどはじめから：観戦中の対局の一番最初にもどります。

棋力判定

本ソフトに収録されている棋譜を使って、あなたの棋力を試すことできます。中級コースの「判定(1)」と上級コースの「判定(2)」があります。

中級と上級

「次の一手」を読んで盤面に打ち、実際に棋士が打った手と照合しながら対局を進めます。その正解率で、対局終了後あなたの棋力を判定します。「判定(1)」は中級コース（5級以上4段以下)で、対局中1手ごとに5つまでのヒントが盤面に表示されますが、「判定(2)」は上級コース(2段以上7段以下)でヒントはありません。

■棋譜の選択

プレイする棋譜を選択します。選択の方法は、「観戦」の場合と同様です。(6ページ参照)

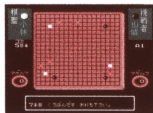
■黒(先手)・白(後手)を選択する

黒・白どちらの棋士でもプレイすることができます。✚ボタンでカーソルをあわせ、Aボタンを押します。

■対局開始

黒番を選ぶと6手目、白番を選ぶと7手目まで自動的に進みます。これ以降、「次の一手」を盤面に打ちながら対局を進めていきます。

中級はヒントがでる

「判定(1)」の場合、1手ごとにヒントが最大5ヶ所まで画面に＋で表示され、その中から「次の一手」を選びます。ヒントの表示以外のところに打つことはできません。また、「判定(2)」の場合は、ヒントは表示されません。

打つと正否の判定がでる

プレイヤーの選択した棋士の番になったら、「次の一手」を打つと推察したところに、✚ボタンで天元にあるカーソルを移動させ、Aボタンを押します。正解の場合は「正」の文字が、不正解の場合は※が表示され、その後自動的に正しいところに石が打たれます。

なお、ここでいう正解は、最善手ではなく棋士が対局で実際に打った手のことです。

■対局を中止する

対局を中止するときは、Bボタンを押します。サブウインドウの「はい」に✚ボタンでカーソルをあわせ、Aボタンを押します。途中で中止すると、その時点での正解率と棋力が表示されます。誤ってBボタンを押したときなど、中止する必要のないときは「いいえ」を選択して対局を再開させます。

■棋力判定

対局が終了すると、右のような画面にかわり、正解率と棋力が表示されます。正解率と棋力の関係はおよそ目安としてお考えください。Aボタンを押すと次の画面にかわります。

■もう1度はじめから／おわる

「もう1度はじめから」を選択すると、同じ対局を再度プレイすることができます。繰り返しプレイして、棋譜を覚えるときにこのコマンドを利用すると便利です。

「おわる」を選択すると、モードの選択画面にかわります。

収録棋譜一覧

「囲碁指南'93」には、以下の棋譜全135局が収録されています。

第16期 棋聖戦(全7局)

A	1	第1局	●山城　宏九段　○小林光一棋聖 165手終了　黒　中押し勝ち
	2	第2局	●小林光一棋聖　○山城　宏九段 264手終了　白　4目半勝ち
	3	第3局	●山城　宏九段　○小林光一棋聖 250手終了　白　1目半勝ち
	4	第4局	●小林光一棋聖　○山城　宏九段 251手終了　黒　5目半勝ち
	5	第5局	●山城　宏九段　○小林光一棋聖 253手終了　黒　6目半勝ち
B	1	第6局	●小林光一棋聖　○山城　宏九段 251手終了　黒　4目半勝ち
	2	第7局	●山城　宏九段　○小林光一棋聖 244手終了　白　半目勝ち

第16期 名人戦(全5局)

B	3	第1局	●林　海峰天元　○小林光一名人 276手終了　白　2目半勝ち
	4	第2局	●小林光一名人　○林　海峰天元 276手終了　白　2目半勝ち
	5	第3局	●林　海峰天元　○小林光一名人 258手終了　白　3目半勝ち
C	1	第4局	●小林光一名人　○林　海峰天元 241手終了　黒　5目半勝ち
	2	第5局	●林　海峰天元　○小林光一名人 257手終了　白　3目半勝ち

第46期 本因坊戦(全6局)

C	3	第1局	●趙　治勲本因坊 ○小林光一棋聖 148手終了 白 中押し勝ち
	4	第2局	●小林光一棋聖 ○趙　治勲本因坊 212手終了 黒 4目半勝ち
	5	第3局	●趙　治勲本因坊 ○小林光一棋聖 234手終了 黒 10目半勝ち
D	1	第4局	●小林光一棋聖 ○趙　治勲本因坊 292手終了 白 5目半勝ち
	2	第5局	●趙　治勲本因坊 ○小林光一棋聖 237手終了 黒 3目半勝ち
	3	第6局	●小林光一棋聖 ○趙　治勲本因坊 212手終了 白 中押し勝ち

第29期　十段戦（全５局）

D	4	第１局	●趙　治勲本因坊　○武宮正樹十段 275手終了　黒　２目半勝ち
	5	第２局	●武宮正樹十段　○趙　治勲本因坊 119手終了　黒　中押し勝ち
E	1	第３局	●趙　治勲本因坊　○武宮正樹十段 223手終了　黒　３目半勝ち
	2	第４局	●武宮正樹十段　○趙　治勲本因坊 215手終了　黒　中押し勝ち
	3	第５局	●趙　治勲本因坊　○武宮正樹十段 178手終了　白　中押し勝ち

第17期 天元戦(全4局)

E	4	第1局	●林　海峰天元　○加藤正雄九段 141手終了　黒　中押し勝ち
	5	第2局	●加藤正雄九段　○林　海峰天元 266手終了　白　1目半勝ち
F	1	第3局	●林　海峰天元　○加藤正雄九段 212手終了　白　中押し勝ち
	2	第4局	●加藤正雄九段　○林　海峰天元 245手終了　白　半目勝ち

第39期 王座戦(全4局)

F	3	第1局	●藤沢秀行名誉棋聖 ○羽根泰正王座 199手終了 黒 中押し勝ち
	4	第2局	●羽根泰正王座 ○藤沢秀行名誉棋聖 197手終了 黒 中押し勝ち
	5	第3局	●藤沢秀行名誉棋聖 ○羽根泰正王座 175手終了 黒 中押し勝ち
G	1	第4局	●羽根泰正王座 ○藤沢秀行名誉棋聖 148手終了 白 中押し勝ち

第16期 碁聖戦(全５局)

G	2	第１局	●小林　覚九段　○小林光一碁聖 270手終了　白　７目半勝ち
	3	第２局	●小林光一碁聖　○小林　覚九段 223手終了　黒　中押し勝ち
	4	第３局	●小林　覚九段　○小林光一碁聖 251手終了　黒　中押し勝ち
	5	第４局	●小林光一碁聖　○小林　覚九段 234手終了　白　半目勝ち
H	1	第５局	●小林光一碁聖　○小林　覚九段 169手終了　黒　中押し勝ち

本因坊丈和編

A	1	●赤星因徹　○本因坊丈和　天保6（1835）年7月27日 246手終了　白　中押し勝ち
	2	●葛野松之助　○長坂猪之助　文化4（1807）年9月14日 159手終了　黒　中押し勝ち
	3	●葛野丈和　○本因坊元丈　文化6（1809）年6月17日 142手終了　黒　中押し勝ち　2子
	4	●葛野丈和　○本因坊元丈　文化12（1815）年4月12日 239手終了　黒　4目勝ち
	5	●桜井知達　○葛野丈和　文化7（1810）年6月 178手終了　白　5目勝ち
B	1	●服部立徹　○葛野丈和　文化9（1812）年5月15日 153手終了　白　8目勝ち　2子
	2	●服部立徹　○葛野丈和　文化10（1813）年2月12日 260手終了　白　6目勝ち

B	3	●服部立徹　○葛野丈和　文化12(1815)年2月14日 164手終了　持碁	
	4	●服部立徹　○葛野丈和　文政元(1818)年6月30日 163手終了　黒　中押し勝ち	
	5	●本因坊丈和　○井上安節　文政5(1822)年1月13日 261手終了　黒　中押し勝ち	
C	1	●葛野丈和　○奥貫智策　文化9(1812)年7月19日 177手終了　黒　中押し勝ち	
	2	●葛野丈和　○山本道佐　文化13(1816)年8月27日 233手終了　黒　中押し勝ち	
	3	●本因坊丈和　○安井仙知　文政2(1819)年11月17日 256手終了　黒　5目勝ち	
	4	●本因坊丈和　○服部因淑　文政3(1820)年11月17日 157手終了　黒　中押し勝ち	

C	5	●四宮米蔵　○本因坊丈和 305手終了　持碁　２子	文政４(1821)年１月25日
D	1	●外山算節　○本因坊丈和 119手終了　打掛	文政５(1822)年３月９日
	2	●本因坊丈和　○井上因碩 147手終了　黒　中押し勝ち	文政５(1822)年11月15日
	3	●片山知的　○本因坊丈和 144手終了　白　中押し勝ち	文政６(1823)年３月11日
	4	●関山虎之助　○本因坊丈和 238手終了　黒　５目勝ち　２子	文政10(1827)年１月25日
	5	●本因坊丈和　○林　元美 201手終了　黒　中押し勝ち	文政10(1827)年11月17日
E	1	●服部雄節　○本因坊丈和 80手終了　白　中押し勝ち	文政11(1828)年８月９日

E	2	●安井俊哲　○本因坊丈和 245手終了　白　1目勝ち　2子	文政12(1829)年11月17日
	3	●水谷琢順　○本因坊丈和 226手終了　黒　10目勝ち	天保2(1831)年2月15日
	4	●本因坊秀和　○本因坊丈和 180手終了　白　中押し勝ち	天保11(1840)年11月1·日

本因坊秀和編

A	1	●本因坊秀和　○井上因碩　天保11(1840)年12月13日 264手終了　黒　4目勝ち	
	2	●土屋秀和　○井上因碩　天保10(1839)年4月13日 319手終了　黒　1目勝ち	
	3	●土屋秀和　○本因坊丈和　天保10(1839)年1月12日 230手終了　黒　3目勝ち	
	4	●本因坊秀和　○本因坊丈和　弘化3(1846)年2月23日 181手終了　黒　中押し勝ち	
	5	●安井俊哲　○土屋秀和　天保8(1837)年12月7日 239手終了　白　2目勝ち	
B	1	●安井算知　○土屋秀和　天保9(1838)年1月22日 305手終了　黒　中押し勝ち	
	2	●安井算知　○本因坊秀和　天保14(1843)年12月13日 288手終了　白　2目勝ち	

B	3	●太田雄蔵　○土屋秀和　天保10(1839)年11月15日 278手終了　白　1目勝ち
	4	●太田雄蔵　○本因坊秀和　天保12(1841)年6月30日 248手終了　白　5目勝ち
	5	●太田雄蔵　○本因坊秀和　天保14(1843)年4月2日 203手終了　白　2目勝ち
C	1	●土屋秀和　○坂口虎次郎　天保9(1838)年5月18日 187手終了　黒　5目勝ち
	2	●坂口仙得　○本因坊秀和　天保11(1840)年11月17日 265手終了　白　1目勝ち
	3	●伊藤松次郎　○本因坊秀和　天保12(1841)年2月18日 180手終了　白　8目勝ち
	4	●伊藤松和　○本因坊秀和　嘉永6(1853)年11月18日 286手終了　白　5目勝ち

C	5	●算知・松和・雄蔵　○秀和・仙得・秀策(連碁)　嘉永5(1852)年3月5日 269手終了　黒　2目勝ち　3目コミダシ
D	1	●林　有美　○本因坊秀和　安政4(1857)年11月17日 213手終了　黒　5目勝ち　2子
	2	●井上因碩　○本因坊秀和　文久元(1861)年11月17日 210手終了　黒　1目勝ち
	3	●桑原秀策　○本因坊秀和　天保15(1844)年2月15日 288手終了　持碁
	4	●桑原秀策　○本因坊秀和　弘化4(1847)年9月13日 160手終了　白　中押し勝ち
	5	●本因坊秀策　○本因坊秀和　嘉永5(1852)年3月22日 255手終了　黒　3目勝ち
E	1	●村瀬弥吉　○本因坊秀和　安政3(1856)年7月29日 249手終了　持碁

E	2	●村瀬弥吉　○本因坊秀和　安政5 (1858)年3月15日 281手終了　白　2目勝ち
	3	●本因坊秀和　○村瀬秀甫　明治4 (1871)年5月5日 109手終了　黒　中押し勝ち

本因坊秀甫編

A	1	●土屋秀栄 ○本因坊秀甫 173手終了 黒 4目勝ち		明治19(1886)年8月6日
	2	●村瀬弥吉 ○本因坊秀和 151手終了 黒 中押し勝ち		安政3(1856)年8月2日
	3	●村瀬弥吉 ○本因坊秀和 231手終了 黒 中押し勝ち		安政3(1856)年9月10日
	4	●村瀬弥吉 ○本因坊秀和 152手終了 白 中押し勝ち		安政3(1856)年10月6日
	5	●村瀬弥吉 ○本因坊秀和 179手終了 黒 中押し勝ち		安政4(1857)年7月22日
B	1	●村瀬弥吉 ○本因坊秀策 266手終了 黒 2目勝ち		嘉永7(1854)年10月22日
	2	●村瀬弥吉 ○本因坊秀策 320手終了 黒 12目勝ち		安政4(1857)年10月3日

B	3	●村瀬弥吉　○本因坊秀策　安政4（1857)年12月6日 232手終了　黒　2目勝ち
	4	●村瀬弥吉　○本因坊秀策　安政6（1859)年2月17日 157手終了　黒　4目勝ち
	5	●村瀬秀甫　○本因坊秀策　文久元(1861)年11月7日 181手終了　黒　中押し勝ち
C	1	●村瀬弥吉　○伊藤松和　安政4（1857)年8月25日 135手終了　黒　中押し勝ち
	2	●梶川守礼　○村瀬弥吉　安政6（1859)年10月5日 150手終了　白　中押し勝ち
	3	●中村正平　○村瀬弥吉　万延元(1860)年8月19日 170手終了　白　11目勝ち
	4	●本因坊秀悦　○村瀬秀甫　明治3（1870)年 89手終了　黒　中押し勝ち

C	5	●小林鉄次郎　○村瀬秀甫　明治4(1871)年3月6日 150手終了　白　6目勝ち
D	1	●安井算英　○村瀬秀甫　明治12(1879)年8月17日 150手終了　白　4目勝ち
	2	●黒田俊節　○村瀬秀甫　明治12(1879)年9月15日 172手終了　白　中押勝ち
	3	●高橋杵三郎　○村瀬秀甫　明治12(1879)年10月19日 201手終了　白　1目勝ち
	4	●林さの女　○村瀬秀甫　明治13(1880)年11月21日 159手終了　白　中押し勝ち　2子
	5	●酒井安次郎　○村瀬秀甫　明治14(1881)年2月20日 156手終了　白　中押し勝ち
E	1	●中川亀三郎　○村瀬秀甫　明治16(1883)年1月21日 226手終了　白　12目勝ち

E	2	●村瀬秀甫　○水谷縫次 179手終了　黒　12目勝ち	明治16(1883)年6月17日
	3	●水谷縫次　○村瀬秀甫 167手終了　黒　中押し勝ち	明治17(1884)年4月17日
	4	●巖崎健造　○村瀬秀甫 132手終了　白　中押し勝ち	明治16(1883)年7月1日
	5	●本因坊秀栄　○村瀬秀甫 200手終了　白　8目勝ち	明治18(1885)年1月18日
F	1	●本因坊秀栄　○村瀬秀甫 120手終了　白　中押し勝ち	明治18(1885)年4月18日
	2	●本因坊秀栄　○村瀬秀甫 202手終了　白　2目勝ち	明治18(1885)年6月20日

本因坊秀栄編

A	1	●田村保寿　○本因坊秀栄　明治31(1898)年10月16日 266手終了　持碁
	2	●林　秀栄　○伊藤松和　明治3(1870)年4月6日 200手終了　持碁
	3	●林　秀栄　○伊藤松和　明治3(1870)年5月9日 141手終了　黒　7目勝ち
	4	●林　秀栄　○中川亀三郎　明治9(1876)年8月22日 172手終了　白　2目勝ち
	5	●林　秀栄　○中川亀三郎　明治9(1876)年12月28日 215手終了　黒　1目勝ち
B	1	●黒田俊節　○林　秀栄　明治10(1877)年6月16日 203手終了　黒　3目勝ち
	2	●林　秀栄　○黒田俊節　明治12(1879)年5月25日 129手終了　黒　中押し勝ち

B	3	●林　秀栄　○村瀬秀甫　明治4 (1871)年 163手終了　黒　3目勝ち
	4	●林　秀栄　○村瀬秀甫　明治12(1879)年4月20日 189手終了　黒　5目勝ち
	5	●林　秀栄　○村瀬秀甫　明治17(1884)年12月21日 149手終了　黒　中押し勝ち
C	1	●本因坊秀栄　○村瀬秀甫　明治18(1885)年3月15日 205手終了　黒　3目勝ち
	2	●林　秀栄　○小林鉄次郎　明治10(1877)年1月23日 105手終了　黒　中押し勝ち
	3	●小林鉄次郎　○本因坊秀栄　明治26(1893)年9月3日 193手終了　黒　1目勝ち
	4	●高橋杵三郎　○本因坊秀栄　明治26(1893)年4月8日 220手終了　白　3目勝ち

C	5	●伊藤小太郎　○本因坊秀栄　　明治28(1895)年11月17日 201手終了　白　中押し勝ち　2子
D	1	●安井算英　○本因坊秀栄　　明治29(1896)年4月19日 136手終了　白　中押し勝ち
	2	●安井算英　○本因坊秀栄　　明治31(1898)年12月8日 199手終了　白　中押し勝ち　2子
	3	●石井千治　○本因坊秀栄　　明治29(1896)年5月13日 194手終了　白　4目勝ち
	4	●石井千治　○本因坊秀栄　　明治31(1898)年6月15日 245手終了　白　2目勝ち
	5	●広瀬平治郎　○本因坊秀栄　　明治33(1900)年9月16日 247手終了　白　4目勝ち　2子
E	1	●雁金準一　○本因坊秀栄　　明治33(1900)年6月23日 225手終了　白　2目勝ち　2子

E	2	●雁金準一　◯本因坊秀栄 164手終了　黒　中押し勝ち　2子	明治37(1904)年8月23日
	3	●田村保寿　◯本因坊秀栄 164手終了　白　中押し勝ち	明治35(1902)年1月19日
	4	●田村保寿　◯本因坊秀栄 255手終了　白　1目勝ち	明治37(1904)年7月10日
	5	●田村保寿　◯本因坊秀栄 160手終了　白　中押し勝ち	明治37(1904)年10月15日

※現代はすべてコミ5目半、古典は一覧表の中に特に記載のないものにつきましては、コミなしです。

■本ゲームソフトの制作にあたり、以下の書籍から引用、または参考にさせていただきました。

『囲碁年鑑』(日本棋院)

『日本囲碁体系第10巻「丈和」　藤沢秀行』(筑摩書房)

『日本囲碁体系第14巻「秀和」　杉内雅男』(筑摩書房)

『日本囲碁体系第16巻「秀甫」　林　海峰』(筑摩書房)

『日本囲碁体系第17巻「秀栄」　高川　格』(筑摩書房)

株式会社 ヘクト

〒102千代田区平河町1-5-13平河町UTビル
PHONE.03-5275-5481(代)
FAX.03-5275-3544